

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 12 月 19 日

【評価実施概要】

事業所番号	3873600450		
法人名	有限会社 グループホームあまご		
事業所名	グループホームあまご		
所在地	喜多郡内子町只海甲855番地15 (電話) 0893-44-3551		
管理者	山本 由子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 11 月 21 日	評価確定日	平成 19 年 12 月 25 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 10 月 23 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 3 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 人, 非常勤 人, 常勤換算 人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	150 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 150 円
	または1日当たり 円		

(3) 利用者の概要 (平成 19 年 10 月 23 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 1 名	女性 17 名
要介護 1	5 名	要介護 2	6 名
要介護 3	3 名	要介護 4	2 名
要介護 5	2 名	要支援 2	名
年齢	平均 83 歳	最低 69 歳	最高 92 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは木造平屋の建物で、自然に恵まれた静かな環境の中に建っている。共用空間は木の温もりに包まれ、家庭的な雰囲気づくりがされている。管理者及び職員は、運営者の思いが込められた理念に沿って日々のケアを行い、利用者の生活を支えている。利用者一人ひとりを理解していることが、利用者の生き生きとした表情からもうかがえる。開設当初から地域との交流はできており、挨拶を交わしたり、気軽に野菜を持ってきてくれる関係がある。運営者がかかりつけ医でもあり、また訪問看護ステーションとも契約しており、健康管理の面でも安心できる。地

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
居間の時計をかける場所は利用者と一緒に位置を決めている。玄関に意見箱を設置している。成年後見制度については、全員で勉強会を行っている。緊急時の手当てについては、定期的に訓練を行っている。介護記録について改善を行っている。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
自己評価は職員全員で意見を出し合い、取り組んでいる。自己評価をすることにより、現在のケアについても気づきがあり、それをサービスの向上につなげている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
運営推進会議は2か月に1回開催し、会議には利用者や家族、町担当者、地域住民の参加があり、参加人数も多い。会議の内容はホーム側の報告や地域行事などについて質問や要望などの意見を出してもらい、話し合いを行っており、サービスの向上に努めている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
家族が気軽に意見を言えるように玄関に意見箱を設置し、家族の来訪時や家族会及び運営推進会議でも意見を聞くよう心がけている。重要事項説明書に公的な苦情相談窓口も記載している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
開設当初より地域とのふれあいを大切にしており、交流できている。地域の人と挨拶を交わしたり、気軽に野菜などを持って来てくれる関係ができています。また地域の行事(運動会、祭り、敬老会など)や小学校の学芸会への参加、地域の活動にも積極的に参加している。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームあまご

(ユニット名) どじょっこ

記入者(管理者)
氏名 力石 淳子

評価完了日 平成 19 年 10 月 30 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 利用者のペースの合わせ、利用者が安心して暮せる様支援し 地域の人とのふれあいを大切に心がけている。 (外部評価) 開設当初から、運営者の思いが込められ、利用者が地域の中で暮らしていくことの大切さを考えたホーム独自の理念となっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) ホーム内に理念を掲示していて、それを念願におき実行できるよう 日々心がけている。 (外部評価) 理念は玄関及び各ユニットに掲示しており、誰でも見ることができるようになっている。管理者及び職員は、理念に沿って利用者の日々の暮らしを支えている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ホーム内に理念を掲示し、又「あまごだより」など送って ご家族や近隣の方々にも、理解していただけるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近所から 野菜をいただき 散歩時には挨拶したり会話したりとおつきあいが出来ている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) いろいろな行事に参加しており、地域との交流はできている。 (外部評価) 開設当初より地域の人達とのふれあいを大切にしており、交流ができています。地域の人と挨拶を交わしたり、気軽に野菜などを持って来てくれる関係づくりができています。また地域の行事(運動会、祭り、敬老会など)や小学校の学芸会への参加、地域の活動にも積極的に参加している。		学芸会 運動会 参観日 敬老会
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の高齢者の暮らしについて、話し合いを持つ時間を作れていないと思う。		高齢者のグループとも、交流を持ちたい。運営者の自宅を利用者と地域の高齢者に開放してサロンの計画をすすめている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部からの意見を受け止め、改善しなければならない点は改善できるよう 取り組んでいる。 (外部評価) 運営者及び管理者、職員は評価の意義をよく理解しており、自己評価も全員で意見を出し合い取り組んでいる。自己評価をする中で現在のケアについても気づきがあり、サービスの向上につなげている。また、外部評価の改善項目についても職員全員で取り組み、改善を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 推進会議を、2ヶ月に一度もうけ、いろんな報告、話し合いを行なって意見を聞きサービス向上に活かしている。 (外部評価) 運営推進会議は2か月に1回開催し、会議には利用者や家族、町担当者、地域住民の参加があり、参加人数も多い。会議内容はホーム側の報告や地域行事などについて質問や要望など意見を出してもらって話し合いを行い、サービスの向上に努めている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 地域行事や、家族会などにも参加していただき、連携は密に取れている。 (外部評価) 町担当者に分からないことを教えてもらったり、相談がある時に訪問するなどしている。また、地域行事や家族会などにも参加してもらっている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修で学んで来ている者もいたり、その資料を参考に勉強している。		成年後見制度などについて、資料を全員に配布
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修などで学んだ者もいる。絶対あつてはならない事だと思っている。		虐待を見逃さないように注意したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 文書や口頭で十分な説明を行なっている。理解、納得していただいていると思う。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 推進会議に出席して意見を述べてもらっている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 「あまごだより」を定期的に発送し近況報告を行なっている。金銭管理に関しては、出納帳をつけて管理している。 <hr/> (外部評価) 毎月の請求書と共に、各ユニット毎のホーム便りに利用者の日常の様子を書いて送っている。金銭管理については、金銭出納帳を家族の来訪時に見てもらいサインをもらっている。遠くにいる家族にはコピーを送っている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご意見箱を設置していて、誰でも利用できるようになっている。 <hr/> (外部評価) 家族が気軽に意見が言えるように玄関に意見箱を設置し、家族の来訪時や、家族会及び運営推進会議でも意見を聞くよう心がけている。重要事項説明書に公的な苦情相談窓口も記載している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員は管理者に対して、意見や提案を自由に言っていると思う。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務については、出来る限り要望に応えられるような勤務表にし、交代もしている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 必要最小限に、抑えてもらっている。 (外部評価) 運営者は、職員の異動は最小限に抑えるよう配慮している。管理者は常にはユニットにいないため、辞めるのではないかと利用者に不安があり、よく顔を見せて不安を与えないように心がけている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) いろいろな、研修を受ける機会をもうけてもらったり、担当者会議の際、勉強会を開いてもらっている。 (外部評価) 職員は法人内外の研修に積極的に参加しており、研修費用は運営者が負担している。また研修に参加した職員は報告書を作成し、会議などで全員に伝わるようにしている。研修の内容はファイルに閉じていつでも見ることができるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) グループホーム連絡会などで交流があり、合同運動会なども行なっている。相互訪問研修も行っている。 (外部評価) 町グループホーム連絡会（月1回）で他の4ホームと交流があり、情報交換したり、講演会の開催や研修、合同運動会など行っている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 運営者とスタッフで飲み会などもうけている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 研修や資格取得等に働きかけている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 気になることや、どうしたら良いか解らないこと事は、いつでも聞いていただき、早急に対応が出来るよう努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用者さんの気持ちも、ご家族の気持ちも受け入れ、よく話を聞かせていただけるよう、努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 状況に応じ、主治医などにも相談しながら対応に努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ご家族の協力も得ながら徐々に慣れていただけるよう、スタッフが、気配り声かけしていく。 (外部評価) サービスを始める前にホーム側から事前調査を行ったり、いつでも本人や家族が見学できるような受け入れ体制ができています。家族と相談しながら馴染めるように努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者さんから、学ぶことも多くあり、一緒に料理したり、共に作業したりして、関係を築いている。 (外部評価) 職員は、人生経験の豊かな利用者から、日々の暮らしの中で教えてもらうこと（料理や農作業など）や学ぶことも多く、お互い支えあう関係を築いている。献立についても相談し、一緒に考えている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 密に連絡を取っている。また面会時には近況報告をして共に支えていく関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 今までの生活状況を把握し、特に面会時など、本人と家族との良い関係を築かれるよう、支援している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会や家族による外出、また 皆とのドライブで行ける以外は、なかなか馴染みの人や場所などは行けない。		外出の機会を増やし、近くに行った際は立ち寄りたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 決して一人にはしないよう、常に声かけ見守りしている。利用者同士の関係が難しい場合は、スタッフが中に入り分かってもらえるようにする。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 終了した場合でも、このホームにいつでも立ち寄り、話が出来る場であってほしいと思う。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人、ご家族の話をよく聞き、これまでの暮らしに近くなるよう努力している。 (外部評価) 日頃から利用者や家族の話をよく聞いてはいるが、さらに「ふれあいタイム」を設けて、利用者と1対1で話し合う機会をつくり、思いや意向の把握に努めるよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとり話をよく聞き、その人に合ったサービスが出来るよう、心がけている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 毎日、観察、把握している。変化があれば口頭や申し送りノートを活用し、スタッフ同士で共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月に一度、担当者会議を開き、主治医、訪問看護師も同席して、本人、ご家族の意見を取り入れ計画を作成している。 (外部評価) 3か月に1回担当者会議を開いて、かかりつけ医、訪問看護師にも参加してもらい、利用者や家族、職員の意見も聞いて話し合い、現状に合った具体的な介護計画を作成している。介護計画は遠方の家族には郵送しており、余白に希望や意見を書いてもらい、署名捺印と共に返送してもらっている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 状態の変化に応じて、ご家族とも連絡を取りながら、見直しを行なっている。 (外部評価) 3か月毎に見直し、必ず評価を行って記録に残している。状態に変化があればその都度見直し、家族とも相談しながら新たな介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ふれ愛タイムという記録する物を作り情報を共有し計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 主治医との連携や病院との連携を行なって要望に応じられるようにしている。 (外部評価) 訪問看護ステーションと医療連携契約をしており、24時間対応が可能な体制を整えている。週1回訪問してもらい、日常的な健康管理や職員の相談などにも対応してもらっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域の人との関わりが密であり、また小学校などとの交流もある。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 今のところ利用する方はいない。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括センターとの協働は行なえていると思う。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 歯科や脳外科などかかりつけがあれば、行けるようにしている。 (外部評価) 運営者がかかりつけ医であり、月1回の往診がある。定期健康診断も行われており、また必要に応じて受診している。他科受診については本人の希望に応じた支援をしている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症に詳しい医師が施設長なので、職員が相談したり利用者が診察、治療受けられるようになっている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 訪問看護と提携を結んでいるので、相談しながら支援しているし、利用者さんの健康チェックも行なってもらっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 施設長が主治医なので、入院、退院時の対応がスムーズに出来るよう 努めていただいている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末ケアの事をスタッフ全員が勉強して理解している。ご家族にも文書、口頭にて説明、納得していただいている。 (外部評価) ホームとして重度化・終末期ケア対応の指針を明確にしており、利用者及び家族に説明して同意書を書いている。	※	重度化や終末期におけるケアについては、医療も関係してくるため、ケアを行う職員はどう対応していくのかについて、本人や家族及び関係者と具体的な内容の話し合いが早期から望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 主治医や、訪問看護師さんの指示、指導を、受けながら、日々の状態の連絡を取り、スタッフが出来ることを、一生懸命している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人が、スムーズに別の居所へ移り住まれるよう、ご家族や関係者と話をし、ダメージを防ぐことに努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) プライベートなことや、本人を傷つけることは決してしないよう、注意して対応している。 (外部評価) 職員の言葉かけや対応は穏やかであり、共に過ごしているという自然さがある。歯磨きなどの声かけもさりげなく行われている。記録などの個人情報は適切に管理されている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) こちらからは強制せず、本人の思いや希望を表せるよう、コミュニケーションを多く取ったり、雰囲気作りに気をつけている。		こちらが、話を先に進めないよう 気をつけて話をしたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 理念にもあるように、一人ひとりのペースを大切に、希望にそうように、支援したいと思っている。 (外部評価) ホームの基本的な1日の流れはあるが、利用者によって行事に参加したり、部屋で過ごしたりと、体調や自分のペースを考慮しながら思い通りに過ごしている。		集団生活の中で、全員が全員出来ているとは思えないが出来るよう 支援していきたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理美容店に家族に連れて行ってもらったり、またご家族や親戚の方が切りに来られたりしている。希望で職員もしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人ひとりの好みを知っていて共有しあっている。準備、食事、後片付けは共に行なっている。 (外部評価) 職員は利用者と一緒に、できることをしてもらいながら食事の準備や後片付けをしている。利用者と職員が同じテーブルで、会話を楽しみながら食事している。食べこぼしなどはさりげなくサポートしている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 飲み物などは、好きな物を選んでいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの、排泄パターンを把握して時間を見てトイレ誘導したり、声かけ付き添いなど行い気持ちよい排泄に心がけている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴は、月 水 金 週3日とほぼ決めている。順番に関しては希望どおりに入れる人と、そうでない人もある。 (外部評価) 入浴を楽しみにしている人は多く、順番は希望を聞いて配慮している。入浴をしたがらない人に対しては言葉かけなどの工夫を行い、楽しく入浴できるよう支援している。		もう少し利用者の希望を聞き入れてあげられるといいと思う。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) その時に応じて、エアコンなどつけ 温度に気をつけゆっくり休めるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 本人の好きなこと、興味があることを全員が共有し、それを生かすような、レクリエーションやドライブ等して楽しんでいる。 (外部評価) 食事の準備や後片付け、洗濯物干し・たたみなどしてもらっている。また地域行事に参加したり、町のグループホーム合同運動会へ参加したりしている。ホーム内では体操、歌、習字、ぬり絵など楽しんでいる。「あまごかるた」も独自で作成しており、みんなでカルタをすることもある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を持つことで安心する利用者さんもある。スタッフと一緒に買い物に行き、本人の欲しい物を買ったりする方もいる。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) その日に応じて、散歩に行ったり 外出したりして気分転換をはかっている。 (外部評価) 天候によっては行けない時もあるが、散歩は日課となっており、行ける人は外出している。また、買い物や地域行事にも参加したり、家庭菜園に行ったりと外の空気に触れることができるよう配慮している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 一人ひとりの行きたい場所を聞いたり、普段の生活では行けない場所へ行ったり最近では、皆で外食したりする機会をつくっている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望により電話をかけられたり、便りを出されたり、希望に添うようにしている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 気軽に、いつでも立ち寄っていただけるホームになっていると思う。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は決して行なってはいけない行為であり、今のところ拘束のないケアをそていると思う。		具体的に、こういった行為が身体拘束であるのかしっかりと学びたい。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中、玄関の鍵は開いており 居室にも鍵はついていない。 (外部評価) 利用者の自由な暮らしを支えるために、鍵はかけていない。また、玄関は家庭的な雰囲気があり、家族や近所の人が気軽に訪ねて来ている。利用者の外出については職員の見守りで対応できている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 居室、リビングにいる際の見守り、夜間帯の見守り付き添いなどしており、転倒の無いよう安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態や、ホーム内の状況を見て危険を防ぐようにしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故が発生した場合、事故報告書を作成し、同じ事故を起こさないようにしている。		事故発生時の、マニュアルをもう少し勉強したい。窒息、誤薬など対応の仕方をしっかり学びたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時の、対応のマニュアルは作成していて、全員目を通してしている。応急手当や、初期対応の訓練は定期的に行なっている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 防火、避難の訓練はしており、スタッフも交代で訓練している。12月には地域消防団との合同訓練をしている。 (外部評価) 定期的に消防署の協力を得て防災訓練を実施している。夜間想定訓練も実施し、職員も交代で訓練に参加している。地域の消防団との合同訓練もしている。訓練記録はきちんと残されており、誰でも見られるようになっている。	※	地域の消防団と一緒に訓練もしているが、ホーム近くの住民がすぐ来てくれる応援協力体制の確保も期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) ご家族には、連絡を取りながら楽しく過ごしていただけるよう支援している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) バイタルチェックや食事、排泄、顔色など一人ひとりの体調をしっかりとチェック、スタッフ全員、共有し主治医へ報告。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬剤担当を2名おき、他のスタッフとも確認し合い、服用時に手渡し見守り、確認している。		誰がどのような薬を服用しているか、スタッフ全員が理解していく必要がある。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘にならないように、野菜を食べよう促したり、水分摂取に努めている。また、主治医に相談したり、排便確認も行なっている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、必ず衛生的に、口腔内の清潔を保持するために、一人ひとりに、声かけ 誘導 介助している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 好き嫌いがあり、一人ひとりの食事摂取量は異なるが、栄養バランスはよいと思う。特に水分量は1日1300cc摂取出来るようつとめている。 (外部評価) 食事は栄養バランスに気をつけた献立となっている。食事摂取量は個人記録に記録されており、水分量は職員が常に気をつけて1日1,300ml摂取できるように努めている。栄養摂取カロリーの把握はできていない。	※	大まかな摂取カロリーや栄養バランスの把握のためにも定期的に専門的な観点からのチェックを期待する。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症の勉強して、全員が周知しており手洗い励行やうがいなど努めている。 マニュアル作成している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板、ふきんの消毒は、毎日している。新鮮で安全な食材を使用している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関先に、ベンチが設置してあり、誰でも話が来たり、プランターに四季の花々を植えている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 四季が感じられるような、壁飾りをしたり、花を生けたり、清潔であるよう心がけている。 (外部評価) 共用空間は木の温もりに包まれ、玄関や居間は利用者を作った季節の飾りなどが飾られていて、家庭的な雰囲気がある。居間は広く、ソファも利用者がくつろげるように置かれ、利用者はそれぞれ思い思いの場所で過ごしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) テレビの前では、ソファが置いてあり、そこでテレビを見たり、談話している。たまには、居眠りされている方もある。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ご家族の、写真が貼ってあったり、テレビやラジオなど自分の慣れ親しんだ物を家族さんと相談しながら、持って来ていただいている。 (外部評価) 家庭よりテレビ、ラジオ、洋服かけ、家族の写真や趣味の物など、自分が使い慣れた馴染みの物を持ち込んでいる。それぞれに合わせた配置や飾り付けをし、個性のある居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 日中、窓を開けたり、エアコンをつけたりして換気や温度には十分気をつけている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりがあり、バリアフリーになっていて安全である。テーブルや椅子も、利用者が使用しやすいようになっている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 混乱することがあれば、すぐに話を聞いて対応し、安心していただけるようにしている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関からは、自由に出入りが出来、また、中庭にある畑などには自由に歩いて行ける。手伝ってもらえる。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	0 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者さんの、思いや願いを把握出来ていても、まだ全員の願いを受け入れていない。利用者さん一人ひとり 話す時間を作りたい。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	ほぼ、毎日の散歩や、一緒にテレビ鑑賞する時、また、食後にのんびりと話をしたり、ゆっくりと過している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	スタッフのペースに合わせることもある。一人ひとりのペースで暮らせていないと思うこともある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	いろんな場面で見ることが出来る。食事を共に作る時であったり、ドライブの時であったり、昔の話をされる時であったり、スタッフもその笑顔が見られて喜んでいる。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ドライブの計画を立てる際は、希望を聞いたりしているが、思うところに行けない事もあり、連れて行ってあげたいと、いつも思っている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	施設長が、主治医なのでスタッフも相談したり、助言いただいたりしているし、利用者さんも毎月の受診、定期的な健康チェックを受けて安心して過している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	会話を密にして、その時の状況や、要望に応じて出来る限り支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 ① ほぼ全ての家族と 評価) 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	年に2回の家族会や、ご家族の面会も度々あり、その都度、近況報告や希望など伺い、スタッフとご家族の信頼関係は築けていると思う。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	近所の方々から野菜の差し入れが、たびたびあったり、玄関先で世間話をされたりと、よく見る光景である。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議を通じて、ホームの事をよく分かっていただき、また、ご家族、地域の方、職員とのつながりも出来て、よいホームにしていくための、会議となっていると思う。
98	職員は、生き活きと働いている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	この仕事が好きで、自分の仕事に責任を持って、働いていると思う。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	努力しているつもりだが、他の利用者に手を取られ、一人ぼっちにしている事があったり、話が出来ない時もある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 1 ほぼ全ての家族等が 評価) ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	あまごで良かった。頼みますと、暖かい言葉を家族さんから聞きました。今後とも、もっと信頼関係を深められるよう努力していきたい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

(環境づくり) 共に生活する家として、安心できる場、楽しめる場、のんびりとして暮らしていける場をつくるよう日々努力している。

[ケアの内容] 何事も、利用者のペースに合わせて行動するよう心がけ、笑顔で会話する。

相手が何を伝えようとしているのか、どう思っているのかよく聴く。出来る軽作業(食事の準備や後片付け、洗濯、掃除、農作業等)や体操、レクリエーション、行事に声かけいっしょに行なう。

〔地域との関係〕 関わりは多く年間行事(運動会 学芸会 お大師様参り お祭り 盆踊り等)に参加させてもらったり、地元の小学生との交流会、授業参観にも出席、散歩時には出会う人ごとに、気持ちよい挨拶していただいている。

(ごだわり) 毎月、機関紙(あまごだより)をユニット別に発行して家族に配布、壁にも掲示している。内容は最近のデジカメでの写真を載せ、その時に関わったスタッフがコメントを書き、お便りコーナーには担当者が利用者の近況報告している。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームあまご

(ユニット名) ふなっこ

記入者(管理者)
氏名 山本由子

評価完了日 平成 19 年 10 月 30 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域のひととのふれあいを大切にすることを、理念にあげて実施するよう努めている。(お大師様 盆踊り 運動会 学芸会 お祭り等) (外部評価) 開設当初から、運営者の思いが込められ、利用者が地域の中で暮らしていくことの大切さを考えたホーム独自の理念となっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念を掲示して、それを念頭に置き実践に向けて取り組んでいる。(毎月の目標をスタッフ全員できめている) (外部評価) 理念は玄関及び各ユニットに掲示しており、誰でも見ることができるようになっている。管理者及び職員は、理念に沿って利用者の日々の暮らしを支えている。		毎月、目標を立てるだけでなく振り返って見る事も大切と反省。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 理念にもあげ、掲示して取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近所から野菜をいただいたり、散歩時は挨拶を交わす付き合いが出来ている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) あらゆる行事に、参加交流できている。 (外部評価) 開設当初より地域の人達とのふれあいを大切にしており、交流ができている。地域の人と挨拶を交わしたり、気軽に野菜などを持って来てくれる関係づくりができている。また地域の行事(運動会、祭り、敬老会など)や小学校の学芸会への参加、地域の活動にも積極的に参加している。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地元の敬老会に、スタッフ余興で参加。 老人会長は推進会議のメンバーになっている。		高齢者のグループとも交流を持ちたい。運営者の自宅を利用して、サロンの計画をすすめている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価で見つめなおし、外部評価で改善できることは取り組む。 (外部評価) 運営者及び管理者、職員は評価の意義をよく理解しており、自己評価も全員で意見を出し合い取り組んでいる。自己評価をする中で現在のケアについても気づきがあり、サービスの向上につなげている。また、外部評価の改善項目についても職員全員で取り組み、改善を図っている。		昨年の評価での改善すべき点は努力した。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 推進会議で、報告話し合いしている。 (外部評価) 運営推進会議は2か月に1回開催し、会議には利用者や家族、町担当者、地域住民の参加があり、参加人数も多い。会議内容はホーム側の報告や地域行事などについて質問や要望など意見を出してもらって話し合いを行い、サービスの向上に努めている。		推進会議でのことを、スタッフにも報告。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 度々出掛けて、分からないことを教えてもらったりしている。 (外部評価) 町担当者に分からないことを教えてもらったり、相談がある時に訪問するなどしている。また、地域行事や家族会などにも参加してもらっている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 学ぶ機会設けたが、現在のところ該当者なし、		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 報告 連絡 相談を、密にして一人で悩まないようにし防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 説明して、理解納得をはかっている。 文書による同意書もいただいている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 随時受け止め、推進会議にも出席してもらっている。意見箱にも出してもらえるよう説明。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 月1回、機関紙を発行して便りコーナーに本人の近況報告、金銭を預かっている方は、金銭出納帳を面会時に見てもらったり、写しを送ったりしている。 <hr/> (外部評価) 毎月の請求書と共に、各ユニット毎のホーム便りに利用者の日常の様子を書いて送っている。金銭管理については、金銭出納帳を家族の来訪時に見てもらいサインをもらっている。遠くにいる家族にはコピーを送っている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 推進会議に、家族代表者参加（年2回は家族会参加者全員）意見箱設置。 <hr/> (外部評価) 家族が気軽に意見が言えるように玄関に意見箱を設置し、家族の来訪時や、家族会及び運営推進会議でも意見を聞くよう心がけている。重要事項説明書に公的な苦情相談窓口も記載している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回は、全員集まって話し合える機会をもうけている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務交代したり、行事等必要な時は時間外勤務で対応。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 最小限に抑えるよう配慮している。 (外部評価) 運営者は、職員の異動は最小限に抑えるよう配慮している。管理者は常にはユニットにいないため、辞めるのではないかと利用者に不安があり、よく顔を見せて不安を与えないように心がけている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修をすすめたり、勉強会をしている。 (外部評価) 職員は法人内外の研修に積極的に参加しており、研修費用は運営者が負担している。また研修に参加した職員は報告書を作成し、会議などで全員に伝わるようにしている。研修の内容はファイルに閉じていつでも見ることができるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 内子町グループホーム連絡会〔月1回〕参加。合同運動会を 南予地区 相互訪問研修参加 (外部評価) 町グループホーム連絡会（月1回）で他の4ホームと交流があり、情報交換したり、講演会の開催や研修、合同運動会など行っている。		内子町GH合同推進会で講演会11月8日に予定
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 食事や飲み会で親睦をはかっている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 研修、資格取得等に働きかけるように努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 可能な限り、安心して生活できるよう機会を作り話を聴き、受け止める努力をしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前調査で、出来るだけ多くの情報を聞くようにし、求められることに対応できるよう努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 出来るだけ、本人や家族の意向に沿うよう努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族と相談しながら、工夫して馴染んでもらえるように、努めている。 (外部評価) サービスを始める前にホーム側から事前調査を行ったり、いつでも本人や家族が見学できるような受け入れ体制ができています。家族と相談しながら馴染めるように努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 農作業や料理、暮らしの知恵等教えてもらいながら、支えあう関係。体が思うように動かない利用者からも口頭で教えてもらい、スタッフが言われるように動いたりしている。 (外部評価) 職員は、人生経験の豊かな利用者から、日々の暮らしの中で教えてもらうこと（料理や農作業など）や学ぶことも多く、お互い支えあう関係を築いている。献立についても相談し、一緒に考えている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族に報告、連絡、相談しお願いして支えていく関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人と家族の気持ちを受け止めて、よりよい関係が築いていけるよう努めている。面会時に写真を撮ってそれを居室に貼ったりしている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 出掛けた時、馴染みの喫茶店に立ち寄ったことはある。		外出先で、馴染みの人に声かけられると喜ばれるので機会を増やしたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士で良い関係の時もあるが、些細なことでトラブルもあり、職員が仲を取り持つことも度々ある。		利用者同士で、仲良くおしゃべりしていると、それが気に入らない人もあり、その利用者のも気配り対応。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 終了した場合でも、必要とされる関係でいたい。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 担当者会議にも出席してもらい希望を聞いている。 (外部評価) 日頃から利用者や家族の話をよく聞いてはいるが、さらに「ふれあいタイム」を設けて、利用者と1対1で話し合う機会をつくり、思いや意向の把握に努めるよう心がけている。		一人だけで生活できている方があり対応に苦勞している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査でのことは、まとめて綴じている。入居してからのことは、個別に記録している。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 毎日、日誌に現状を見守り記録、把握し申し送り共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月毎に作成して評価、見直しその人の身になって作成している。 (外部評価) 3か月に1回担当者会議を開いて、かかりつけ医、訪問看護師にも参加してもらい、利用者や家族、職員の意見も聞いて話し合い、現状に合った具体的な介護計画を作成している。介護計画は遠方の家族には郵送しており、余白に希望や意見を書いてもらい、署名捺印と共に返送してもらっている。		家族には、面会時や電話で希望を聞いたり、遠方の方には、ケアプランの署名捺印をいただく時に現状を説明し、希望を書いていただけるよう余白を設けて一緒に返送してもらっている。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 体調に変化があれば、期間に関係なく現状に即した計画を新たに作成。 (外部評価) 3か月毎に見直し、必ず評価を行って記録に残している。状態に変化があればその都度見直し、家族とも相談しながら新たな介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日誌やケースに記録、情報を共有してプランの見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 主治医や訪問看護ステーションとの契約、連携でかなり柔軟な支援ができています。 (外部評価) 訪問看護ステーションと医療連携契約をされており、24時間対応が可能な体制を整えている。週1回訪問してもらい、日常的な健康管理や職員の相談などにも対応してもらっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域の資源が多く協力を得ながら支援している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 現在は該当者なし。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 説明は聞いたが、現在は協働していない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や家族の希望を取り入れて、適切な医療を受けるよう支援している。 (外部評価) 運営者がかかりつけ医であり、月1回の往診がある。定期健康診断も行われており、また必要に応じて受診している。他科受診については本人の希望に応じた支援をしている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医の診断や治療を受けている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 訪問看護ステーションと契約し、気軽に相談、日常の健康管理、医療活用の支援している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 本人希望で、家族、病院関係者と相談し早期退院した方もある。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化、終末期ケア対応指針を示し、同意書も得ている。 (外部評価) ホームとして重度化・終末期ケア対応の指針を明確にしており、利用者及び家族に説明して同意書を書いている。	※	そういう事態になれば、家族、医師、看護師、スタッフとの連携で、方針を共有して支援したい。 重度化や終末期におけるケアについては、医療も関係してくるため、ケアを行う職員はどうか対応していくのかについて、本人や家族及び関係者と具体的な内容の話し合いが早期から望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 取り組めるよう、研修や勉強会で備えている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 出来るだけ、多くの情報を提供(交換)している。		移り住むのでなくても、必要と思われるときは情報提供用紙に書いて渡す。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) プライバシーを損ねることのないよう気をつけて、対応している。 (外部評価) 職員の言葉かけや対応は穏やかであり、共に過ごしているという自然さがある。歯磨きなどの声かけもさりげなく行われている。記録などの個人情報は適切に管理されている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 自己決定に、出来る限り沿うよう支援している。		都合で待せる時は説明して納得してもらうよう頼むことがある。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来る限り、利用者優先、希望も聞き選んでもらったりしている。 (外部評価) ホームの基本的な1日の流れはあるが、利用者によって行事に参加したり、部屋で過ごしたりと、体調や自分のペースを考慮しながら思い通りに過ごしている。		希望が色々出ると、その中で検討する。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 美容院を、希望される利用者は行ってもらっている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立を立てる時、希望を聞いたり準備、片付けも出来る方には一緒にしてもらっている。 (外部評価) 職員は利用者と一緒に、できることをしてもらいながら食事の準備や後片付けをしている。利用者と職員が同じテーブルで、会話を楽しみながら食事している。食べこぼしなどはさりげなくサポートしている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 希望を聞いたり、いくつか準備して選んでもらったり楽しめるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの、排泄パターンを把握して、声かけ、誘導 介助し気持ちよい排泄に心がけている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 週に3回〔冬は2回〕以上入ってもらうよう支援している。 (外部評価) 入浴を楽しみにしている人は多く、順番は希望を聞いて配慮している。入浴をしたがらない人に対しては言葉かけなどの工夫を行い、楽しく入浴できるよう支援している。		毎日でも入りたい人、一番に入りたい人、入りたくない人等あり、お願いするようにしている。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 夜間覚醒者の声が、気になるという方が時折ある。休まれている時、無理に起こしたりはしなすようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 食事の準備、後片付け、洗濯物を干したりたたんだり、散歩農作業等、できる人にはお願いして一緒にする。時には利用者のほうから声がかかることもある。 (外部評価) 食事の準備や後片付け、洗濯物干し・たたみなどしてもらっている。また地域行事に参加したり、町のグループホーム合同運動会へ参加したりしている。ホーム内では体操、歌、習字、ぬり絵など楽しんでいる。「あまごかるた」も独自で作成しており、みんなでカルタをすることもある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理できる利用者は所持している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) ほとんど毎日散歩している。 (外部評価) 天候によっては行けない時もあるが、散歩は日課となっており、行ける人は外出している。また、買い物や地域行事にも参加したり、家庭菜園に行ったりと外の空気に触れることができるよう配慮している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 個別にお見舞い、面会、自宅へ帰ったりすることもある。家族や親戚のかたと、出かけて外食することもある。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話したり、便りの代筆や上書きを頼まれてすりことがあるが、電話は家族のほうが、喜ばれないこともある。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも気軽に立ち寄ってもらえるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束はしていない。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵はかけていません。 (外部評価) 利用者の自由な暮らしを支えるために、鍵はかけていない。また、玄関は家庭的な雰囲気があり、家族や近所の人が気軽に訪ねて来ている。利用者の外出については職員の見守りで対応できている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 絶えず安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者一人ひとりの、状況を見ながら取り組んでいる。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 防災等の訓練はしている。一人で玄関から出掛ける利用者には気配り、スタッフ同士声かけあい対応。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアル作成して勉強会、初期対応の訓練は定期的実施。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域の消防団と、合同訓練もしている。 (外部評価) 定期的に消防署の協力を得て防災訓練を実施している。夜間想定訓練も実施し、職員も交代で訓練に参加している。地域の消防団との合同訓練もしている。訓練記録はきちんと残されており、誰でも見られるようになっている。	※	地域の消防団と一緒に訓練もしているが、ホーム近くの住民がすぐ来てくれる応援協力体制の確保も期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 家族に報告、相談しながら楽しく生活できるよう支援している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルチェック、食欲や排泄等以外でも異変に気付いたら再チェック、異常があれば速やかに主治医に連絡、情報を共有して対応。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬剤担当を2名おき確認しあっている。内服時に手渡し、見守り確認、必要に応じて介助。内服変更時には申し送り、病状に変わりあれば報告。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事、排泄、水分量をチェックしながら対応している。食事の時には声かけしたりしている。排泄自立している利用者の記録は分からない点がある。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 出来ない人には、声かけ、誘導、一部介助、全介助している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの、好みや状態にも気を配り、支援している。食事以外に、水分摂取量1300cc冬場は難しい。 (外部評価) 食事は栄養バランスに気をつけた献立となっている。食事摂取量は個人記録に記録されており、水分量は職員が常に気をつけて1日1,300ml摂取できるように努めている。栄養摂取カロリーの把握はできていない。	※	大まかな摂取カロリーや栄養バランスの把握のためにも定期的に専門的な観点からのチェックを期待する。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 取り決めて実行、主治医、看護師を交えて勉強会、マニュアル作成。トイレ、手すりはビューラック。インフルエンザは全員予防接種。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板、布巾はハイターにつける。新鮮な食材を使用している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関にベンチを置き、利用者同士、家族、近所の方、子供達とおしゃべりしている姿をよく見かける。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 出来ていると思うが、感じ方はさまざまだと思う。 (外部評価) 共用空間は木の温もりに包まれ、玄関や居間は利用者を作った季節の飾りなどが飾られていて、家庭的な雰囲気がある。居間は広く、ソファも利用者がくつろげるように置かれ、利用者はそれぞれ思い思いの場所で過ごしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 中庭と、玄関にベンチ、屋内にはソファがあり一人でいたり、仲間同士で話している姿を見かける。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 現在は、家具等持ち込む方があまりない。 (外部評価) 家庭よりテレビ、ラジオ、洋服かけ、家族の写真や趣味の物など、自分が使い慣れた馴染みの物を持ち込んでいる。それぞれに合わせた配置や飾り付けをし、個性のある居室となっている。		家族にはすすめている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気には努め、気温もエアコンをつけたりしているが、外気温と大きな差は付けない。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 屋内はバリアフリーで手すりつき、トイレも多機能、杖や専用椅子で自力移動できる工夫がしてある。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 出来ることは、お願いしてしてもらう。混乱や失敗はさりげなくカバーし自立して暮らせるよう支援する。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 外回りを一緒に散歩したり、ベランダからおりて芝生に上を自由に歩いたりし、また、中庭の畑の手入れもしてもらえる。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 0 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	掴んでいると思っているが、裏があることもあり自己概念を広く持つよう心がけている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	ぴったりくっついている時間を長く持たなくても、散歩や入浴時会話に心がけ、いい関係作りに努めている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ゆっくりのペースに合わせることは出来るが、特に早いペースの利用者には、待ってもらうようお願いする事がある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	支援して生き生きしてもらえると、スタッフも生き生きになっている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	近所への散歩は、ほぼ毎日出掛けているが、希望が他県であったり、何処にも行きたくないという利用者もある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	オーナーが主治医で、施設長、訪問看護ステーションと契約、定期的に健康チェック。傍にいるスタッフは様子を見守り確認している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出来る限りその時の状況や要望に沿うようにしているが、場合によっては訳を言って待ってもらうこともある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	信頼関係は、ほぼ出来ていると思うが、訪問されても利用者さんと会わずに帰ったりされる方が一部あるのは残念。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	近所の方から、取れたての野菜をいただいたり、玄関先で世間話をしているのをよく見かける。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議に、地元の方が大勢出席していただき、色々な行事に参加させてもらったり、散歩で出会う方とお互い笑顔で挨拶。
98	職員は、生き活きと働けている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者には体調がすぐれない方があったり、夜間も覚醒して声が出る方があってもいつも笑顔で対応。スタッフ同士相談したり、助け合ったりしている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	中には、もっと自由にしたい方があるかも知れないが、「あまごじゃないといけん」と言ってくれる方もある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	不満より、お礼を言って下さる方が多い。遠慮せず何でも言ってもらいたいと思っている。あまごに入居させて、良かったと言ってもらえるよう頑張っています。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

(環境づくり) 共に生活する家として、安心できる場、楽しめる場、のんびり暮らしていける場をつくるよう日々努力している。(ケアの内容) 何事も、利用者のペースに合わせて行動するよう心がけ、笑顔で会話する。相手が何を伝えようとしているのか、どう思っているのかよく聴く。出来る軽作業{食事の準備や後片付け、洗濯、掃除、農作業}や体操、レクリエーション、行事に声かけして一緒に行く。(地域との関係) 関わりは多く年間行事{運動会、学芸会、お大師様参り、お祭り、盆踊り等}に参加させてもらったり、地元の小学校との交流会、授業参観にも出席、散歩時には気持ちよい挨拶をかわしている。(こだわり) 毎月、機関紙{あまごだより}をユニット別に発行して家族に配布、壁にも掲示している。内容は最近のデジカメでの写真を載せ、その時に関わったスタッフがコメントを書き、お便りコーナーには担当者が利用者の近況報告している。